

# 防災を考える日

～テーマ「災害時の連絡手段を確認し災害に備える」～

## 内容

- 1 今月のテーマ
- 2 「災害用伝言サービス」などを活用しましょう
- 3 災害用伝言サービス利用方法

"携帯電話の災害用伝言板やスマートフォンによる災害用音声お届けサービスもあります。各携帯会社のホームページなどから確認しましょう。"

## 今月のテーマ

「防災を考える日」の今月のテーマは、「災害時の連絡手段を確認し災害に備える」です。

大規模災害が発生すると、一度にたくさんの人が電話をかけるため、つながりにくくなります。事前に安否確認の連絡手段などを確認し、利用方法などを話し合ってみましょう。

## 「災害用伝言サービス」などを活用しましょう

災害時には手短な通話を心がけ、不要不急の連絡、再ダイヤルを控えましょう。また、積極的に「災害用伝言サービス」やメールを活用しましょう。

## 災害用伝言サービス利用方法

(1) 災害用伝言ダイヤル(171)※音声による伝言

【大規模な災害が発生した場合に利用可能】

「171」にダイヤルし、ガイダンスにしたがい、録音または再生を行います。

(2) 災害用伝言板(web171)※文字による伝言

パソコン・スマートフォンから、<https://www.web171.jp/>へアクセス、登録する電話番号を入力し、「伝言を登録する」ボタン又は「伝言を確認する」ボタンをクリックする。

## 体験利用してみましょう

「災害用伝言ダイヤル(171)」、「災害用伝言板(web171)」、携帯電話用「災害用伝言板」は、「毎月1日・15日」や「正月三が日」「防災週間」等で体験利用が可能です。

いざという時のため、日ごろから家族などで体験し利用方法を確認してみましょう。(通話・通信料がかかる場合があります。利用通信事業者に確認してください)



### 気仙沼市総務部危機管理課

988-8501

宮城県気仙沼市八日町1-1-1

電話番号:

0226-22-3402

FAX 番号:

0226-22-1467

電子メール:

kikikanri@kesenuma.miyagi.jp